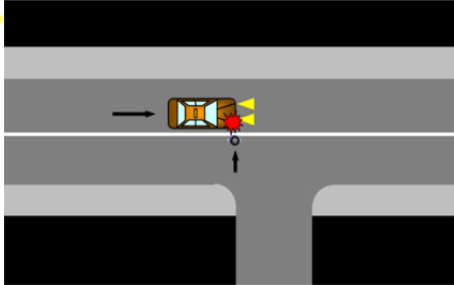
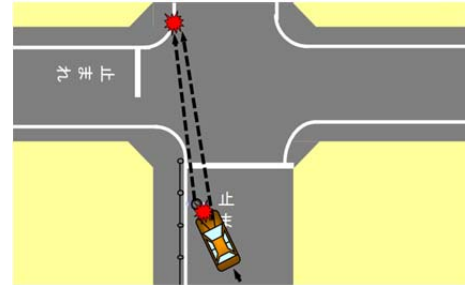




高齢者関与の交通死亡事故連続発生



7月24日（金）
午後7時55分頃
清瀬市内において、直進中のタクシー（40歳代）と歩行者が衝突し、道路を横断していた歩行者の男性（70歳代）が亡くなりました。



7月25日（土）
午後3時50分頃
新宿区内において、乗用車（60歳代）と歩行者が衝突し、歩行者の男性（60歳代）が亡くなりました。

※概要図は、事故当事者の実際の責任や過失の軽重を表したものではありません。

道路を歩くときも、運転するときも知っておきましょう!!

高齢者のからだと心の特性

自分は元気だから大丈夫と**思っていないませんか？**

個人差はありますが、一般的に次のような特性があるとされています。
もう一度自分のことを振り返ってみましょう。



特徴1

加齢に伴って、身体機能（視力・聴力・歩行速度・瞬発力）などが変化し、危険を避ける行動が遅くなりがち

特徴2

自分の体力を過信し、若いときの気持ちで行動を取りがち

特徴3

「自分は高齢者だから相手がなんとかしてくれるだろう」という自分勝手な思い込み

特徴4

過去の経験に頼り、形だけの安全確認になりがち



歩行者のみなさん

ドライバーは、横断している歩行者や自転車の皆さんの存在に気づいていないかもしれません。

横断歩道を渡っているときも、車が近づいていないか周りをよく確認しましょう。また、無理な横断や横断禁止場所の横断は絶対にやめましょう!!

交通ルールを守って自分の命を守りましょう。

ベテランドライバーのみなさん

安全運転に焦りは禁物です。

心にゆとりをもって一つ一つの動作を確実に行うようにしましょう。

また、交差点にさしかかるときには、いつでも止まれる速度で進行し、交差点付近に歩行者や自転車がいないかよく確認しましょう。

慣れた道でも油断は禁物。常に緊張感をもって運転しましょう!!

守ることは自分を守ることに繋がります!

◎ **厳しい暑さが続きます。体調が悪くないと感じたら無理をせず、外出や運転は控えるようにしましょう!**